

ガス給湯器 取扱説明書

	〔屋外設置形〕	〔屋内設置形〕	〔リモコンコントロール〕
品 名	135-T950型	135-T959型	138-T400型
型 式 名	GS-321GW	TP-WQ325GE	MC-08



このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

このガス給湯器には保証書が付いています。内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

大阪ガス

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



分禁禁止



必ず行う



電源プラグを抜く



アースを接続せよ

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX参照) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について■

やけど注意

排気口や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

品名

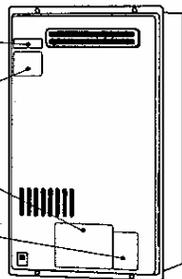
品名を表示しています。

使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

銘板

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造業者等を表示しています。



(図はT35-T950型を示す)

この製品の特長

●お使いになる湯温や、湯量に応じてガス量を自動調節します。

●冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。

●別売品のメインリモコン(138-T401型)、サブリモコン(038-0208型)、防湿形サブリモコン(038-0209型)を取り付けている場合、給湯温度は37～75°Cの間で、16段階に調節できます。またメインリモコン(138-T401型)を取り付けている場合に限り、施工時に、37～80°Cの間で16段階の調節ができる設定(高温対応)にすることも可能です。(→17ページ参照)

●1台だけでなく、2台から20台までのマルチ設置が可能です。

☆安全に正しくお使いいただくために・・・	1
この取扱説明書の表示について	
機器本体の表示について	
☆この製品の特長・・・	2
☆必ずお守りください・・・	3
☆各部の名称とはたらき・・・	8
☆ご利用前の準備・・・	13
メインリモコン(138-T401型)の現在時刻の合わせかた・・・	13
☆リモコンなしでお湯を使う・・・	14
☆リモコン(別売品)でお湯を使う・・・	15
操作の基本・・・	15
優先の切替えについて・・・	16
給湯温度の調節・・・	17
☆プログラム運転を使う・・・	18
プログラム運転について・・・	18
プログラム時刻の合わせかた・・・	18
プログラム運転のしかた・・・	19
☆循環回路制御について・・・	21
☆故障かな?と思ったら・・・	22
お湯の出かた・・・	22
機器本体・・・	23
リモコン・・・	24
リモコンのアラーム番号が出たとき・・・	25
☆冬期の凍結予防をするには・・・	26
☆点検のポイント・お手入れのしかた・・・	30
☆アフターサービスについて・・・	32
☆仕様・・・	33

お使いいただくまえに

使いた

故障かな?と思ったら

長くお使いいただくために

必ずお守りください

⚠ 危険

屋内設置の禁止（屋外設置形のみ）

●この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

排気筒の定期点検（屋内設置形のみ）

●排気筒（排気筒トップを含む）が外れていたり、鳥の巣、落葉、ススなどでつまっているか定期点検をする。つまっていると排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、
 - ①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
 - ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
 - ③窓や戸を開け、ガスを外に出す。（屋内設置形のみ）
 - ④お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。
 - すべての処置が終るまでの間絶対に、
 - ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し火災のおそれがあります。火気禁止

⚠ 警告

屋外設置の禁止（屋内設置形のみ）

●この機器は屋内設置形ですので屋外に設置しない。雨水の浸入などで故障の原因となります。



機器設置（および付帯工事）

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事には不備があると事故の原因となります。
- 屋外設置形の機器は、増設などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置、移動、取外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

給排気口の周囲

●給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

囲い禁止

●設置後、機器や排気口（屋内設置形は排気筒トップ）を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

機器本体に無理な力を加えない

●機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

換気注意（屋内設置形のみ）

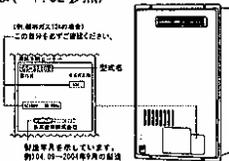
●換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがない。また、機器を使用する際は台所や脱衣室などのレンジフードや換気扇を使用しない。室内に排気が入って一酸化炭素中毒の原因となります。

使用ガス、使用電源について

- 機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火によるやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は（P. 32参照）



ガス種・電源を確認



（図は135・T950型を示す）

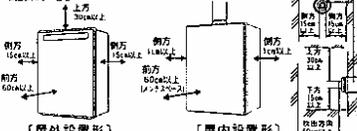
安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

お使いいただくまえに

⚠ 警告

火災予防のために必ず守ること

機器および排気筒トップの周辺は常に図の離隔距離を確保する。



- 機器や排気口（屋内設置形は排気筒・排気筒トップ）の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器や排気口（屋内設置形は排気筒・排気筒トップ）の周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 機器や排気口（屋内設置形は排気筒・排気筒トップ）の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 排気口（屋内設置形は排気筒トップ）は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。

お子様には十分な注意を

●浴槽にお湯張りにしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。

異常時の処置について

①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。

②本書の「故障かな?と思ったら」(P. 22~P. 25)に従って処置をする。

③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音、異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

地震・火災など緊急時の場合

●地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉じる。

機器本体でのやけどに注意

●機器の使用中心または使用後しばらくは、排気口（屋内設置形は排気筒・排気筒トップ）とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。



接触禁止



分解禁止

●お客様自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常動作して事故の原因となります。



分解禁止

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

①シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出ることもあるので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。

②給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。

③お湯を止めた後に再使用する時、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、夏期などで水温が高くなっているとき、あるいは万一機器が故障した場合には、熱いお湯が出ることもあるので注意する。手のひらで温度を確かめて、湯温が安定してからお使いください。

④シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。

⑤浴槽に入るときは、手でお湯の温度を確認して入浴する。また、浴槽中のお湯は上下に温度差があることがありますのでご注意ください。



手で温度を確かめる



必ずお守りください

お願い

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部の結露により、機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは、近隣の家が運転音(燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事者とご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 煽などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが滞留しないようにしてください。機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するためです。

給排気について

- 機器および排気筒トップは、給排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 増改築時には、燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因となります。
- 排気口(屋内設置形は排気筒トップ)の周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。



禁止



塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因となります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水適用です。地下水や温泉水、井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。保証期間内でも有料修理となります。

ほこり

- 油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。また、屋内設置形の給気フィルターのお手入れ(→P. 31参照)はこまめに行ってください。ほこりが給気口(屋内設置形は給気フィルター)をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

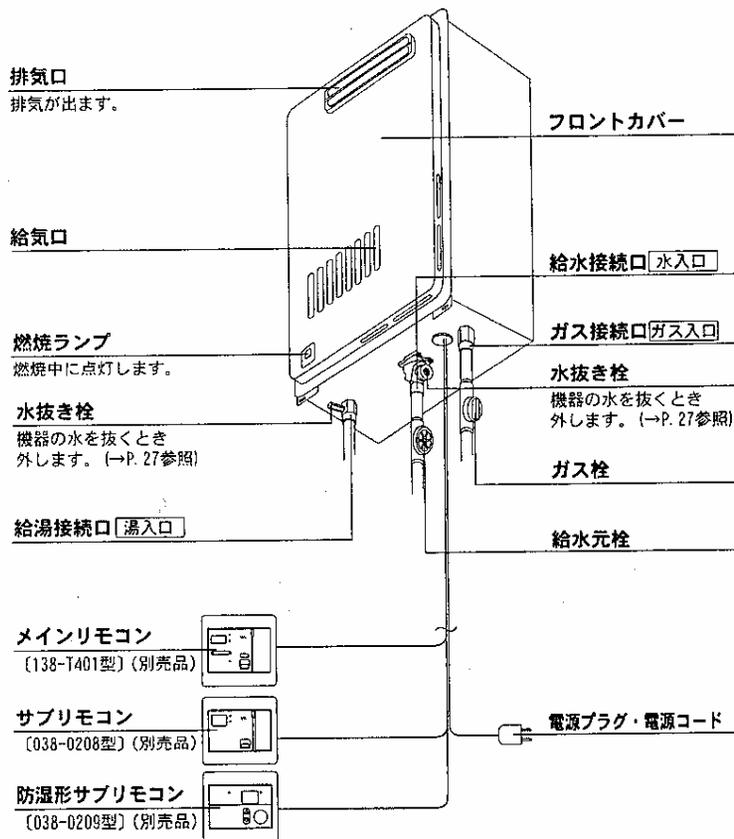
塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因となります。

各部の名称とはたらき

この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

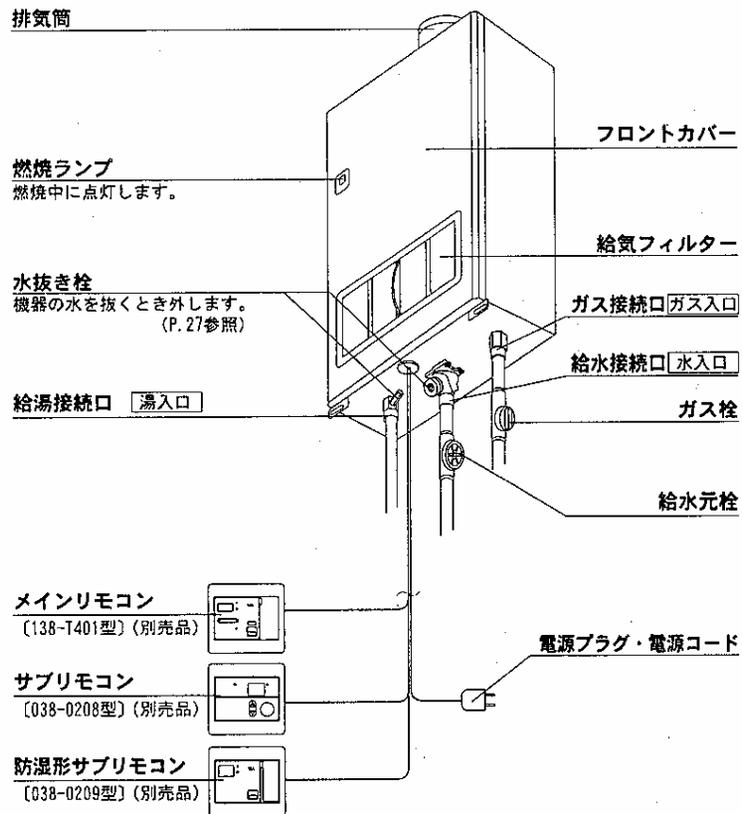
■ 機器本体 135-T950型〔屋外設置形〕



お使いいただくために

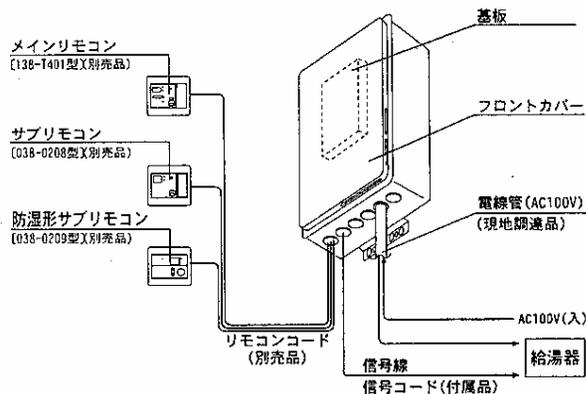
各部の名称とはたらき

■機器本体 135-T959型〔屋内設置形〕



■マルチコントローラ 〔138-T400型〕(別売品)

マルチコントローラ本体

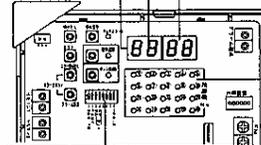


複数台設置には、マルチコントローラおよびリモコンを取り付けて、使用してください。
※リモコンは、上記3種類のうち異なる2つのリモコンまで、同時取り付け可能。

基板

アラーム発生時にアラーム番号やメンテナンス時にデータを表示します。

通常は、表示されません。
アラーム発生時には、以下の表示をします。
アラーム番号を表示します。(→P. 25参照)
給湯器番号を表示します。
※メンテナンスモード時は、メンテナンスデータを表示します。



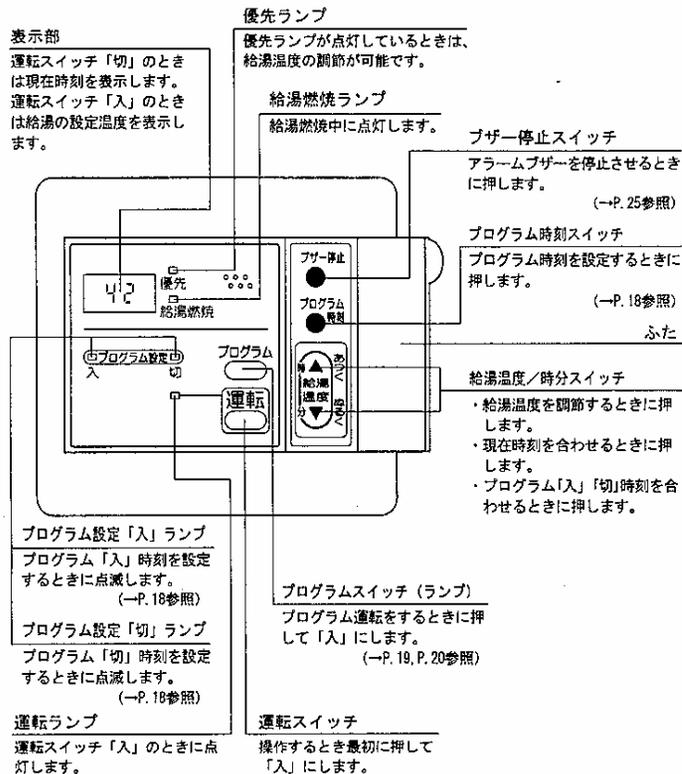
バーコン表示ランプ
接続されている給湯器の番号を示すランプが点灯します。
アラーム発生時、アラームになった給湯器番号を示すランプが点滅します。

切替スイッチ

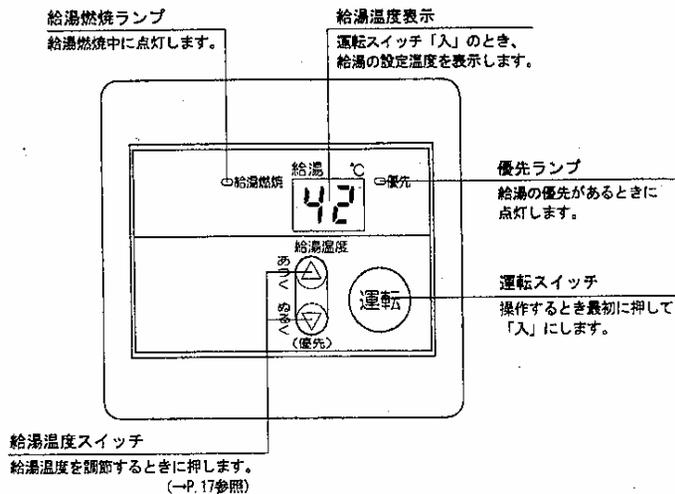
1. 「優先機2台」スイッチ
常時多量のお湯(10ℓ/min以上)を使用する場合は、このスイッチを「ON」にしてください。最小燃焼台数が2台になります。

各部の名称とはたらき

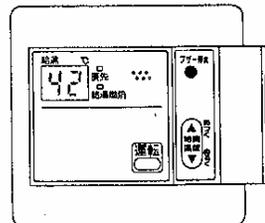
■メインリモコン [138-T401型] (別売品)



■防湿形サブリモコン [038-0209型] (別売品)



■サブリモコン [038-0208型] (別売品)



メインリモコン、防湿形サブリモコンの付いている所以外から、運転スイッチの「入」・「切」、給湯温度の調節、プザー停止ができます。各部のはたらき、使用方法は、メインリモコン [138-T401型] と同じですが、プログラム運転設定及び時計表示はできません。

お使いいただくまえに

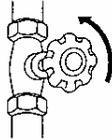
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

■機器の準備

- 1 この取扱説明書のP. 30の内容に従って、機器や機器周辺の点検を行います。

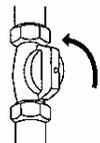
- 2 給水元栓を全開にします。
機器の下にあります。



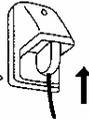
- 3 給湯栓を開き、水が出ることを確認したら閉じます。



- 4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



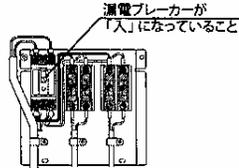
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。



マルチコントローラ (138-T400型) を取付けている場合

マルチコントローラに電源 (AC100V) が供給されていることを確認してください。

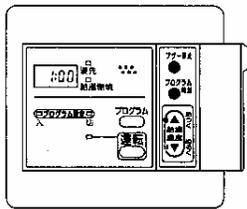
・マルチコントローラのフロントカバーを開け、漏電ブレーカーが「入」になっているか確認。



漏電ブレーカーが「入」になっていること

メインリモコン (138-T401型) の取り付けと設定方法

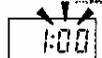
メインリモコン [138-T401型] を取付けている場合



①時/分スイッチを同時に押す。



・時刻表示が点滅します。



②時スイッチを押して時の位を合わせる。



・時間の表示は24時間表示です。
(0:00~23:59)
(例) 10:10に設定



③分スイッチを押して分の位を合わせる。



・時刻合わせ後約10秒で時刻表示が点滅から点灯にかわり、設定終了となります。



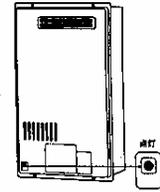
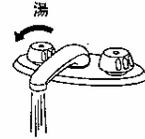
設定した現在時刻は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、電源プラグを約50分以上抜いたままにしたとき、また約50分以上停電したときは1:00に切り替わります。再度設定してください。

リモコンなしでお湯を使う

給湯栓を開けばお湯が出ます。
お湯の温度は約60℃の高温 (一定) になります。
必ず混合水栓をお使いください。

- 1 給湯栓を開けて、お湯を出します。

給湯器の燃焼ランプが点灯します。



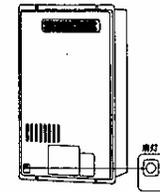
(図は135-T950型を示す)

- 2 お湯と水を混ぜて、お湯の温度を調節します。



- お湯を止めるには
給湯栓、給水栓を閉じ、お湯を止めます。

給湯器の燃焼ランプが消灯します。
(ただし、他の給湯栓が使用中のときは消えません)



(図は135-T950型を示す)

警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

注意 ●ご注意ください

●給湯栓を閉しても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

お願い ●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)

●給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。

●水温が30℃近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なく、給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

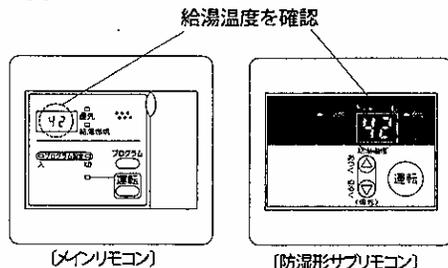
●この機器は約60℃一定出湯の他に約45℃一定、約75℃一定、約80℃一定出湯が可能です。(工場出荷時は約60℃一定) 設定温度を変える場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

リモコン (別売品) でお湯を使う

■操作の基本 リモコンのスイッチをONにして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

1 メインリモコンまたは防湿形サブリモコンに給湯温度が表示されているか確認します。

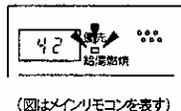
表示されていないときは、運転スイッチを押す。



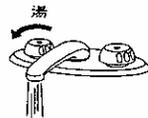
2 給湯栓を開けます。しばらくしてお湯が出ます。給湯燃焼ランプが点灯します。

はじめてお使いになるときの給湯温度は42℃に設定されています。

給湯燃焼ランプが点灯



(図はメインリモコンを表す)



止めるほ お湯を

給湯栓を閉じ、お湯を止めます。

お湯が止まると、給湯燃焼ランプが消灯します。(ただし、他の給湯栓が使用中のときお消えません)



⚠警告 ●給湯、シャワー等を使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

⚠ご注意ください

●給湯栓を閉しても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

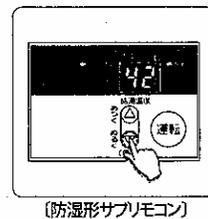
メモ

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。
- 水温が30℃近くになる夏季では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

■優先の切替えについて メインリモコンの給湯温度で浴室のシャワーを使うと熱い場合があります。給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。シャワーを使うときは、防湿形サブリモコンを優先し、防湿形サブリモコンで設定した湯温でシャワーを使えます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

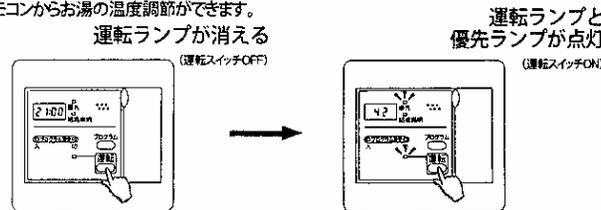
■優先を切替える

1 メインリモコンが優先のときに防湿形サブリモコンを優先にするには防湿形サブリモコンの「優先」スイッチを押します。防湿形サブリモコンに優先ランプが点灯します。防湿形サブリモコンが優先となり、防湿形サブリモコンからお湯の温度調節ができます。



2 防湿形サブリモコンが優先のときにメインリモコンを優先にするにはメインリモコンの運転スイッチをOFFにして再度ONにします。

メインリモコンに優先ランプが点灯します。メインリモコンが優先となり、メインリモコンからお湯の温度調節ができます。



⚠警告 ●シャワー・給湯の使用中に優先を切替えない。お湯の温度が急変してやけどをするおそれがあります。

⚠ご注意ください

- メインリモコンでは優先ランプが点灯していないときに給湯温度を設定しようとすると、「ヒヒヒヒヒ」と警告音が鳴って受け付けません。優先を切替えてから給湯温度を設定してください。
- 優先を切替えるときには他の場所でも使われていないことを確認してから切替えてください。

メモ

- 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃以上だった場合には、自動的に55℃にセットし直されます。
- やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 別売のサブリモコン (038-0208型) を設置している場合。
 - ・メインリモコンが優先のときは、サブリモコンにも優先があります。
 - ・サブリモコンとメインリモコンは連動しています。サブリモコンのスイッチをONにすると、メインリモコンとサブリモコンの両方に優先ランプが点灯し、メインリモコンでも給湯温度を調節できます。

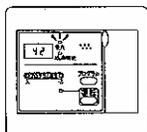
リモコン (別売品) でお湯を使う

■給湯温度の調節 メインリモコン、防湿形サブリモコンでお湯の温度を調節します。

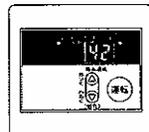
1 給湯温度を調節したいリモコンに優先ランプが点灯しているか確かめます。

優先ランプが点灯していないときには、P. 16に従って点灯させてください。

優先ランプが点灯



(メインリモコン)



(防湿形サブリモコン)

2 給湯温度スイッチで給湯温度を調節します。

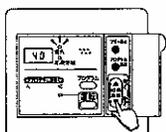
▲スイッチを押すと温度が高くなります。

▼スイッチを押すと温度が低くなります。

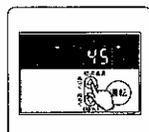
以下の16段階で設定できます。



※上記のどちらかに設定できます。(目安の温度)
※給湯温度の高温対応の設定は、設置工事時に行います。設定は施工業者に確認してください。(メインリモコン取付け時)



(メインリモコン)



(防湿形サブリモコン)

お願い

- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やかど防止のため60℃以上には設定できません。60℃以上に設定しようとすると「ピピピピ」と警告音が鳴って受け付けません。
- 上記で60℃以上に設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、一度通電が止まったあと再通電したときは、給湯温度表示が42℃になります。再度セットし直してください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチをOFFにしても記憶されていますが、給湯温度を60℃以上に設定したときはやかど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れればとき自動的に55℃にセットされます。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

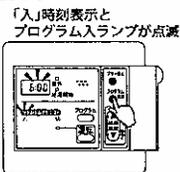
プログラム運転を使う

■プログラム運転について プログラム運転はメインリモコンを取付けている場合に使えます。毎日決まった時刻に自動で運転の「入」/「切」ができます。

■プログラム時刻の合わせかた まず、メインリモコンの現在時刻が合っているかを確認します。合っていない場合は合わせてください。(→P. 13参照) そのあとプログラム時刻を合わせます。

1 プログラム時刻スイッチを押します。

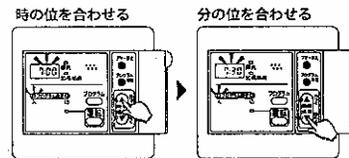
「入」の時刻が点滅し、プログラム入ランプが点滅します。



「入」時刻表示とプログラム入ランプが点滅

2 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。



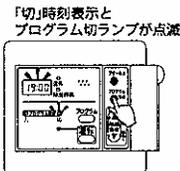
時の位を合わせる

分の位を合わせる

(例) 7:30に設定

3 プログラム時刻スイッチを押します。

「切」の時刻が点滅します。プログラム入ランプが消灯し、プログラム切ランプが点滅します。

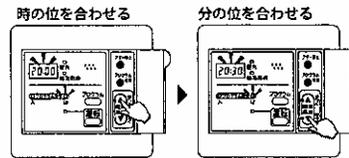


「切」時刻表示とプログラム切ランプが点滅

4 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。

約10秒後、表示部が現在時刻表示、または給湯温度表示に戻り、プログラム切ランプが消灯します。



時の位を合わせる

分の位を合わせる

(例) 20:30に設定

メモ

- セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので、利用する時刻が決まっているときはプログラム時刻は毎日セットする必要はありません。
- ▲▼スイッチは押し続けると連続的に数字が変わります。

使いかた

プログラム運転を使う

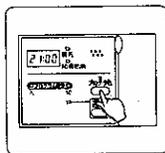
■プログラム運転のしかた

- メインリモコンの現在時刻・プログラム時刻を確認してください。プログラム時刻の確認は、プログラム時刻スイッチのみを押して行ってください。1回押すごとに順次表示します。
- プログラム時刻の変更は“プログラム時刻の合わせかた”(P.18)を参照してください。

プログラム運転を
セットするには

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが点灯します。
プログラム運転がセットされた状態になります。

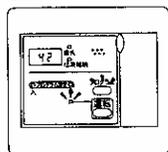


(図の時刻表示は現在時刻を表示しています)

「入」時刻になると

運転が「入」になり、
運転ランプが点灯します。
表示部が給湯温度表示になります。
給湯栓を開ければお湯が出ます。

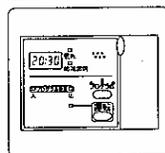
運転ランプが点灯



「切」時刻になると

運転が「切」になり、
運転ランプが消灯します。
メインリモコンでは表示部が
現在時刻表示になります。
浴室リモコン・サブリモコンでは
給湯温度表示が消えます。

運転ランプが消灯



お願い

- プログラム運転中(プログラムスイッチ点灯中)でも、運転ランプ(メインリモコン)が消灯しているときは給湯栓を開けてもお湯は出ません。給湯を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてから使用してください。

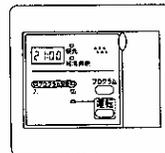
プログラム運転を
解除するには

運転の停止中に解除する

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが消灯し、
プログラム運転が解除された状態になります。

プログラムスイッチが消灯

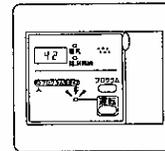


運転中に解除する

プログラムスイッチを押します。

プログラム運転は解除されますが、
通常運転になります。
プログラムスイッチは消灯し、
運転ランプは点灯したままです。

プログラムスイッチは消灯。
運転ランプは点灯したまま



プログラム運転中
に停止するには

プログラム運転中(プログラムランプ点灯中)に
運転を停止するとき

運転スイッチを押します。

運転動作が変わり(運転→停止、停止→運転)もう1度押すともどに戻ります。
運転中は運転ランプが点灯し、停止中は消灯します。
プログラム運転の設定は解除されません。
(プログラムスイッチは点灯したままです)

お願い

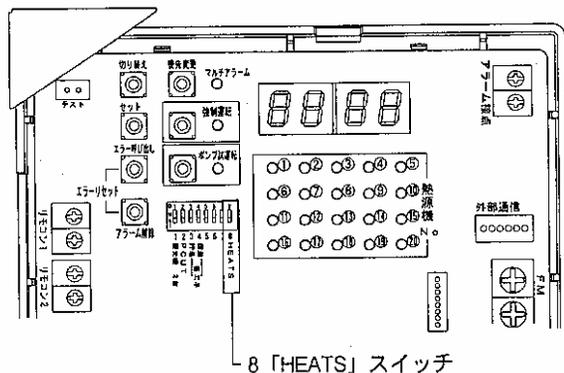
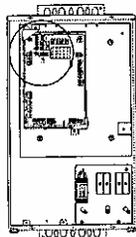
- プログラム運転をセットした後、停電や電源プラグを抜いたときは、セットが解除されます。電源復帰後、プログラムスイッチを押してセットし直してください。

循環回路制御について

■循環ポンプ制御について

マルチコントローラ (138-T400型) 本体の8「HEATS」スイッチを切替えることにより、循環ポンプ2台を负荷に応じた台数で、制御することが出来ます。
上記の設定を変更する場合には、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

フロントカバーを開ける



●ご注意ください

- 設定変更を行う際は必ず、電源を切ってください。
- 上記の設定を変更する場合には、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

■お湯の出かた

こんなとき	故障ではありません
給湯栓を開いてもすぐに お湯が出ない	最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。
夏などぬるいお湯が出ない	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなることがあります。
冬などあついお湯が出ない	お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。
お湯が白く濁って見える	水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。

こんなとき	ここを調べてください
あついお湯が出ない	◎湯温調節は適切ですか? (P.17) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P.13)
ぬるいお湯が出ない	◎湯温調節は適切ですか? (P.17) ◎給水ろフィルターが詰まっていますか? (P.31) ◎給湯栓が十分開いていますか? (P.14, P.15) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P.13)
お湯が出ない (運転しない)	◎マルチコントローラに通電されていますか? (P.13) (マルチコントローラを使用している場合) ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P.13) ◎停電していませんか? (P.6) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P.13) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P.13) ◎給水ろフィルターが詰まっていますか? (P.31) ◎給湯栓が十分開いていますか? (P.14, P.15) ◎断水していませんか? ◎凍結していませんか? (P.29)

使いかた

故障かな?と思ったら

それでもわからないときは
アフターサービスをお申しつてください

故障かな?と思ったら

■機器本体・システム (複数台設置)

こんなとき	故障ではありません
お湯を使っていないのに時々給湯器が燃焼する 循環ポンプが止まったり動いたりする	システム(複数台設置)で循環回路を組んだ場合、循環回路内のお湯の保温のため、実際にお湯を使わなくても給湯器が燃焼することがあります。また、循環パターンにより、循環ポンプがON-OFFします。外気温が低く機器内の凍結予防装置が作動すると、循環ポンプがONになります。(P.26)
寒い日に排気口(屋内設置形は排気筒トップ)から白い湯気が出る	外気温が低いときは排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
出湯停止後もファンの回転音がある	再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。
給湯栓を閉じると、給水側の水抜き栓から一瞬水が漏れる	給水側の水抜き栓は過圧逃し弁をかかえています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。
こんなとき	ここを調べてください
燃焼ランプが点灯しない(運転しない)	<ul style="list-style-type: none"> ◎マルチコントローラに通電されていますか? (P.13) (マルチコントローラを使用している場合) ◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P.13) ◎停電していませんか? (P.6) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P.13) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P.13) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P.31) ◎給湯栓が十分に開いていますか? (P.14, P.15) ◎断水していませんか? (P.29) ◎凍結していませんか? (P.29) 上の9項目を確認して、*リセット操作をしてください。
燃焼ランプが点滅した	<ul style="list-style-type: none"> ◎ガス栓が全開になっていますか? (P.13) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P.13) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P.31) ◎給気フィルターは正しく装着されていますか? (P.31) (屋内設置形のみ) 上の4項目を確認して、*リセット操作をしてください。
使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> ◎ガス栓が全開になっていますか? (P.13) ◎設定温度が低過ぎませんか? (P.17) ◎レンジフードや換気扇が強すぎて給気不足になったり、ストーブなどの長時間使用で不完全燃焼すると自動的に消火します。レンジフードを弱にするか、換気口を開けて換気をしてください。(屋内設置形のみ)
運転中に機器から異常音が聞こえる	点検依頼してください。

それでもサービスをいとお申し込みはつけください

*リセット操作
運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

■リモコン

こんなとき	故障ではありません
現在時刻が合っていない	約50分以上の停電があったときや、約50分以上電源プラグを抜いた後再通電すると時刻が1:00から進み始めます。再度、現在時刻を合わせてください。(メインリモコンを取付けている場合)
こんなとき	ここを調べてください
画面表示しない	◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P.13)
リモコンの運転ランプが点灯しない	◎停電していませんか? (P.6)
給湯燃焼ランプが点灯しない(運転しない)	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P.13) ◎停電していませんか? (P.6) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P.13) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P.13) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P.31) ◎給湯栓が十分に開いていますか? (P.14, P.15) ◎断水していませんか? (P.29) ◎凍結していませんか? (P.29) 上の8項目を確認して、*リセット操作をしてください。
リモコンのアラーム番号が表示されたとき	リモコンのアラーム番号を確認してください。(P.25)

*リセット操作
運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

■こんな場合には安全装置が働きます ()はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を予防します。・・・凍結予防装置
- バーナーの炎が消えた場合にガスを止めます。(121)・・・立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。・・・漏電安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721)・・・残火安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(141)・・・過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の破損を防止します。・・・過圧防止安全装置

それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

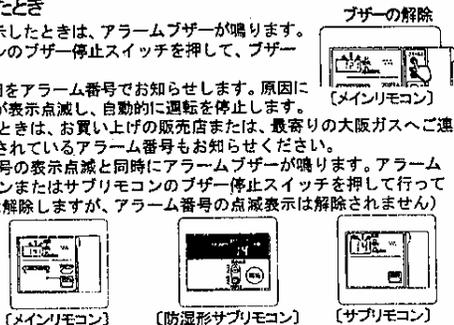
故障かな?と思ったら

故障かな？と思ったら

■リモコンのアラーム番号が出たとき

- リモコンにアラーム番号が表示したときは、アラームブザーが鳴ります。メインリモコンがサブリモコンのブザー停止スイッチを押して、ブザーを止めてください。
- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは表示されているアラーム番号もお知らせください。
- メインリモコンはアラーム番号の表示点滅と同時にアラームブザーが鳴ります。アラームブザーの解除はメインリモコンまたはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。(アラームブザーは解除しますが、アラーム番号の点滅表示は解除されません)

例：図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。



アラーム番号	表示内容	原因	対応
031 (03)	031 (03)	ガス種選択異常	ガス栓が全開であることを確認後、リモコンの運転スイッチを「切」にし、5秒後運転スイッチを「入」にしてお使いください。
141 (14) 701 (70) 711 (71)	141 (14) 701 (70) 711 (71)	電装基板の故障のため	それでもアラーム番号が出るときは、修理を依頼してください。
111 (11) 121 (12)	111 (11) 121 (12)	火がつかないときや、使用中に炎が消えてしまったため	※設置条件により、アラームの有り無しとなります。
311 (31) 321 (32) 331 (33)	311 (31) 321 (32) 331 (33)	温度検出器の故障のため	機器を使用できません。電源プラグを抜かずガス栓・給水元栓を開けて修理を依頼してください。
301 (30) 611 (61) 721 (72)	301 (30) 611 (61) 721 (72)	燃焼系の故障のため	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
510 (51)	510 (51)	ガス回路の故障のため	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
631 (63)	631 (63)	外部循環ポンプ故障(※)	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
541 (54) 661 (66)	541 (54) 661 (66)	水回路の故障のため	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
441 (44)	441 (44)	給水フィルター詰まり	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
681 (68)	681 (68)	外部ファンモーターOFF故障	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
741 (74) 751 (75)	741 (74) 751 (75)	メインリモコン通信異常 サブリモコン通信異常	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
761 (76)	761 (76)	給湯器通信異常	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
101 (10) 651 (65)	101 (10) 651 (65)	給排気の異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため 水回路の故障のため	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
991 (99)	991 (99)	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
051 (05)	051 (05)	給気フィルター部の詰り、閉塞により給気不足になったため(屋内設置型)	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため
		給気フィルターが正しく装着されていないため(屋内設置型)	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動したため

() 内はサブリモコン、防湿形サブリモコン、マルチコントローラの表示位置です。

25 ※マルチコントローラのアラーム番号の表示位置は、10ページをご覧ください。

冬期の凍結予防をすることは凍結を予防するための操作について説明します。

■凍結予防装置について

通常の寒さのとき(外気温-15℃程度まで)この機器は、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。そのため外気温-15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結予防ができます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。※マルチコントローラを使用し、循環回路を組んでいる場合は、気温が下がってくると自動的に循環ポンプが運転し、循環回路内を凍結予防できます。



- お願い ●凍結予防装置は電源プラグを抜くと作動しませんのでご注意ください。
●機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、以下のいずれかの方法で凍結予防をしてください。

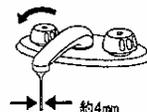
1. 給湯栓を開いて水を流す方法 2. 機器の水を抜く方法

1. 給湯栓を開いて水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 1 別売のリモコンを取り付けている場合は運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。リモコンを取り付けていない場合は電源プラグを抜きます。

- 3 浴室の給湯栓を開き、1分間に400cc(牛乳びん2本くらい)の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分くらい後にもう一度流量を確認してください。



- 2 ガス栓を閉じます。

- お願い ●次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。
●凍結予防装置で凍結予防をしているときは電源プラグを抜いたり、電源ブレーカーを切ると作動しません。絶対に電源プラグを抜いたりブレーカーを切ったりしないでください。

- 1. 給湯栓を開いて水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のため水を流していることをお知らせください。水を止めますと凍結します。

冬期の凍結予防をするには

2. 機器の水を抜く方法

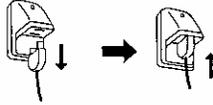
入居前や長期使用しない場合は、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

△注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。
やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

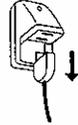
1 ガス栓 (1) を閉じます。



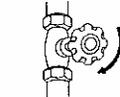
2 電源プラグ (5) を抜き、再度コンセントに差し込みます。



3 15秒ほど待ち、再び電源プラグ (5) を抜きます。



4 給水元栓 (2) を閉じます。

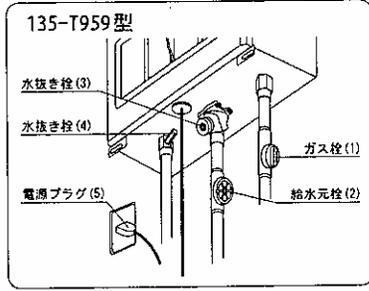
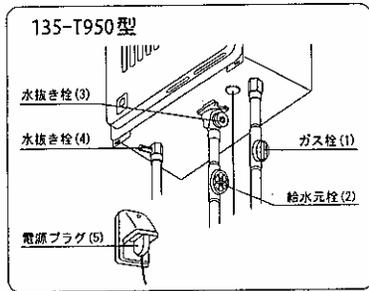


5 すべての給湯栓を全開にします。



6 水抜き栓 (3) (4) を外して水が出ることを確認します。

・以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。



△注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかり閉める。思わぬ事故の原因となります。(→P.31参照)

●お願い ●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

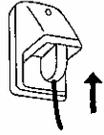
■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

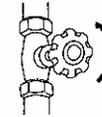
1 水抜き栓 (3) (4) およびすべての給湯栓を閉じます。



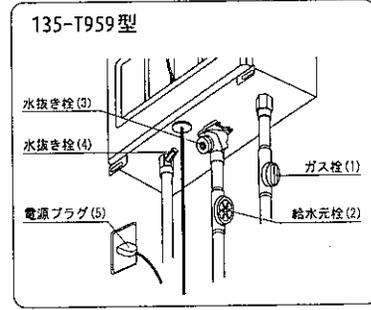
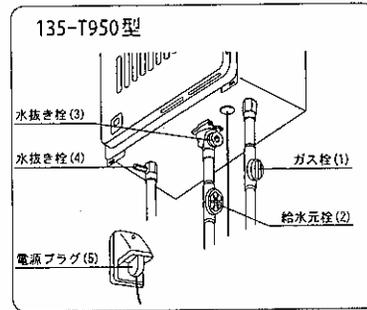
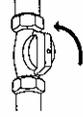
3 電源プラグ (5) をコンセントに差し込みます。



2 給水元栓 (2) を開けて、すべての給湯栓から水が出ることを確認します。
(機器や配管より水漏れがないか確認してください)



4 ガス栓 (1) を開けます。



△注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかり閉める。思わぬ事故の原因となります。(→P.31参照)

●お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

●水抜き栓の閉じ忘れなどによる水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合は修理・補修費用がかかります。

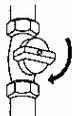
長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには

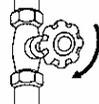
■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓 (1) を閉じます。

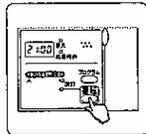


2 給水元栓 (2) を閉じます。
(配管が破損している、解凍したときの水漏れの原因になります)

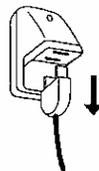


3 別売品のリモコンを取付けている場合は運転スイッチを「切」にします。リモコンを取付けていない場合は電源プラグを抜きます。

リモコンを取付けている場合

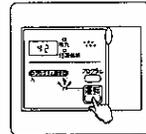


リモコンを取付けていない場合

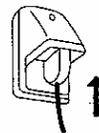


4 ときどき給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。通水したら機器および配管より水漏れがないことを確認してください。ガス栓 (1) を開けます。

リモコンを取付けている場合



リモコンを取付けていない場合



- お願い**
- 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額の修理費用(有料)がかかる場合があります。
 - 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見ながら水漏れしていないことを確認してください。
 - 機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント (月1回程度)

次の11のポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や隣下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口 (屋内設置形は排気筒トップ) のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然としていますか？
機器のまわりに雑草や木くず・箱などが雑然としている、機器の内部に害虫 (ゴキブリなど) が侵入したり、くもりの果がはたたりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 排気口 (屋内設置形は排気筒トップ) への積雪や、屋根から落ちた雪により、排気口 (屋内設置形は排気筒トップ) が塞がれていませんか？
排気口 (屋内設置形は排気筒トップ) が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口 (屋内設置形は排気筒トップ) の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口 (屋内設置形は排気筒トップ) を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 7 排気口 (屋内設置形は排気筒トップ) が損傷やつまり、外れていることはありませんか？
- 8 給気フィルターにゴミ、ほこりが詰まっていますか？ (屋内設置形)
- 9 給気フィルターの変形、破損はありませんか？ (屋内設置形)
- 10 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか？ (屋内設置形)
- 11 給気フィルターが物などで塞がれていませんか？ (屋内設置形)



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ (有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度 (HEATSで使用する場合は年二回程度) の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



注意 ●ご注意ください

分解禁止

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター (金網) を掃除してください。
- メインリモコン、サブリモコンは水をかけないようご注意ください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、防湿形サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどではお拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

お願い

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に新築などの場合)

- 1 給水元栓を閉じる。
- 2 給水接続口にある水抜き栓を外す。
- 3 歯ブラシなどで洗う。
- 4 元のように取り付ける。



(図は135-T950型を示す)

お願い ●給水口フィルターを外すと水が出ます。

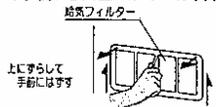
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。

■給気フィルターの掃除(屋内設置形のみ)

給気フィルターはほこりやゴミがつまると、別売のリモコンの表示部にアラーム番号“051”が表示点滅し、2秒間“ピピピピピピ・・・”と鳴ります。給気フィルターはときどき掃除してください。

給気フィルターの外し方

- 別売のリモコンを取り付けている場合は、運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。リモコンを取り付けていない場合は電源プラグを抜きます。
- 上にずらして手前に引くとフィルターが外れます。



給気フィルターを掃除する

- ほこりやゴミを掃除機で吸い取るか、水洗いします。



- 元のように取り付けます。濡れている場合は、よく乾かしてから取り付けてください。

お願い

- ベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。
 - 給気フィルターを外したまま使用したり、ぬれたまま取付けて使用しないでください。故障の原因となります。
- ※給気フィルターが変形・破損したときは、お買い上げの販売店でお求めください。

■点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れ後は、機器が正常に作動するか確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

配管カバー(または据置台)のフロントカバーについて

配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- P.22～P.25の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名: 135-T950型
(ガスの種類: 例えば13A) **135-T950**
大阪ガス株式会社
21-033-72-06041

(上のようならベルを機器前面に添付してあります)
- (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできる限り詳しく)
- (4) 訪問ご希望日

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後7年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合は、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きくならないような場所をお選びください。また、排気筒トップからの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(水抜き方法は、P.27を参照してください)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様

〔仕様表〕

項目	内容
品名	135-T950
型式名	GS-321GW
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅352×奥行235×高さ580/27
給湯方式	先止め式
設置方式	屋外壁掛形
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
使用水圧	100~500kPa(1.0~5.0kgf/cm ²)
最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)
ガス接続	20A(R3/4)オネジ
水接続	20A(R3/4)オネジ
湯接続	20A(R3/4)オネジ
電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	84W
定格凍結予防時	106W
電源コード	VCT(2心)機外長2.0m
安全装置	水流検知装置(水量センサー) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 送風検知装置(回転検知方式) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 漏電安全装置(漏電リレー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(電気ヒーター) 誘導電保護装置(サージアブソーバー) 残火安全装置(バイメタル式)
付属品	壁固定ネジ一式・信号コード
別売品	メインリモコン・防湿形サブリモコン・サブリモコン・リモコンコード

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW(kcal/h)	出湯能力(最大時)(ℓ/min)		ガス接続
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	69.2 (59,500)	32	20	20A (R3/4)
LPGガス	69.7 (4,98kg/h)	32	20	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa(2.0kgf/cm²)のときで、温度を高めめに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

〔仕様表〕

項目	内容
品名	135-T959
型式名	TP-WQ325GE
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅335×奥行230×高さ610/29
給湯方式	先止め式
設置方式	屋内設置壁掛形
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
使用水圧	100~800kPa(1.0~8.0kgf/cm ²)
最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)
ガス接続	20A(R3/4)オネジ
水接続	20A(R3/4)オネジ
湯接続	20A(R3/4)オネジ
電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	101W
定格凍結予防時	85W
電源コード	VCTFK(2心)機外長2.0m
安全装置	水流検知装置(水量センサー) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 送風検知装置(回転検知方式) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 漏電安全装置(漏電リレー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(電気ヒーター) 誘導電保護装置(サージアブソーバー) 残火安全装置(バイメタル式)
付属品	アース線・壁固定金具一式
別売品	メインリモコン・防湿形サブリモコン・サブリモコン・リモコンコード

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW(kcal/h)	出湯能力(最大時)(ℓ/min)		ガス接続
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	70.3 (60,500)	32	20	20A (R3/4)
LPGガス	70.5 (5,04kg/h)	32	20	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa(2.0kgf/cm²)のときで、温度を高めめに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために